

地域力が未来を拓く

佐賀武雄から『維新』の風が吹く

in Takeo

全国自治体政策研究交流会議・自治体学会

大会参加・情報交換会
宿泊・エクスカーション等のご案内

2010. 8 / 19(木) ~ 8 / 20(金)

佐賀武雄
大会

第27回全国自治体政策研究交流会議佐賀武雄大会

会場／武雄市文化会館 大ホール

主催／第27回全国自治体政策研究交流会議
佐賀武雄大会実行委員会
(佐賀県・武雄市・佐賀県市長会・佐賀県町村会)

第24回自治体学会佐賀武雄大会

会場／武雄市文化会館 小ホール ほか

主催／自治体学会

地域力が未来を拓く ～ 佐賀武雄から『維新』の風が吹く

▶ 第27回全国自治体政策研究交流会議佐賀武雄大会

ごあいさつ

昨年は、総選挙においていずれの政党も、地方分権、地域主権改革を進めることをマニフェストに謳い、地域主権改革を「一丁目一番地」とすると位置づけた政権が誕生するなど、地方分権にとって歴史的な転換期であったといえます。現政権においても、地域主権改革が重要課題であることには変わりはなく、少しずつ地方分権が進んでいます。

言い古されてきたことですが、地域が自由に行政サービスのあり方を選択できない限り、真の豊かさは実現しません。地方が、その地域の実情に合わせた政策を実行できるように、地方の権限の拡大とあわせて、地方が自由に使える税財源の充実、私たちが長年にわたり求めてきたことであり、極めて重要な課題といえます。

それとともに、地方においても、これまでのように国からの情報を待って対応するといった受け身の姿勢ではなく、主体的に政策を立案し、優先順位を決めて実行していくことが求められてきます。地域の特色、実情に合わせた行政サービスを日々提供し、施策の成功例を全国に向けて発信していくことも重要です。

地域主権改革により、地域における行政サービスのあり方に対する地方の自由度は高まりますが、その自由度を生かせるかどうかは、それぞれの自治体の首長と議会の判断にかかっており、ひいては、地域住民の「地域力」にかかっていると思います。改革の歯車は地域住民（主権者）がいなくては回りません。住民に身近な行政は、自治体が自主的かつ総合的に広く担うようにするとともに、地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組み、未来を切り拓いていくことが、今求められているのだと思います。

このたび、地方自治の進展に高い志を持った多くの方々が、佐賀武雄にお集まりいただき、今後の地方自治のあり方についての議論を交わすことで、それぞれの地域でより実りある施策が実施されることを期待しております。皆様のご来県を心から歓迎いたします。

第27回全国自治体政策研究交流会議佐賀武雄大会実行委員会委員長
(佐賀県経営支援本部長) 小 池 信 之

▶ 第24回自治体学会佐賀武雄大会

ごあいさつ

不安定な政治状況が続き、自治の現場も混迷の余波を受けています。平成の市町村合併が一段落し、合併した新しい自治体、あるいは困難ではあっても合併せずに頑張ろうと決意した自治体も、そこを基点に新しい自治のあり方やまちづくりの方向を模索し始めています。しかしながら「地域主権」が唱えられ、そのことがどの方向に向かうのか、地方自治体にとってその見定めは難しく、腰が落ち着かない状況といえます。

ただ自治の視点や自治体にとって、いくつかの大きな潮流は見えています。中央に安易に依存せず、地域自らの力量で、いかに困難を切り開いていくか。地方自治体として、地域住民や民間団体等と連携し、信頼関係を築きつつ、地域の課題をどう解決していくか。歴史や伝統、固有の文化、地域で培われてきた伝統工芸や技術等々を最大限に活かした魅力的な地域をどう形成するか。こうした大きな流れを確実なものとするために、自治体職員の行動力の向上、議会の政策能力や活力の拡大、自治体間の連携など、新たに取り組まなくてはならない多くの課題があります。

明治維新という変革期に、佐賀藩が果たした役割はとても大きいものでありました。反射炉を建設して製鉄に取り組み、蒸気機関や新型大砲の製造、城内で種痘接種を試みたりと、日本の近代化に大きく寄与しました。副島種臣、大隈重信、江藤新平など、その時代をリードした人材も輩出しています。平成16年に、県立歴史館として再建された本格的木造建造物、佐賀城本丸御殿では、それらの経緯がよく理解できます。

変革の時代である現在、新しい自治のあり方を、このような歴史を持つ佐賀の地に集い、ともに考えることは意義深いことではないでしょうか。

ここ、佐賀県武雄市での政策研究交流会議と自治体学会全国大会に参加された自治体関係者、市民活動関係者、研究者等の皆さんが、研究を発表し、経験を交流し、自治体改革のみならず、日本の改革をも視野に入れた議論が深められることを、心から期待し願っております。

より多くの皆様が参加されますようご案内いたします。

自治体学会 代表運営委員
岡崎 昌之 進士 五十八 中川 幾郎

開 催 概 要

日程	内 容	会 場	備考
8月19日 (木)	【第27回全国自治体政策研究交流会佐賀武雄大会】 11:45 受付開始<武雄市文化会館大ホール ホワイエ> 13:00 開会あいさつ 13:05 基調講演 「地域力の創造と発信 ～ 佐賀発施策あれこれ」(仮) 古川 康 佐賀県知事 14:20 パネルディスカッション 「地域力が未来を拓く ～ いかにして地域の人材力を高めるか」(仮) パネリスト 横石 知二 株式会社いろどり代表取締役社長 当麻よし子 埼玉県所沢市長 樋渡 啓祐 佐賀県武雄市長 コーディネーター 加留部貴行 九州大学大学院統合新領域 学府特任准教授 17:00 自治体学会あいさつ 17:05 次期開催地あいさつ 17:10 閉会あいさつ	武雄市文化会館 大ホール (武雄市武雄町大字武雄5538 番地1) TEL 0954-23-5165 FAX 0954-23-5167	参加費 (資料代) 2,000円
	◎11:00～17:00 ポスターセッション	武雄市文化会館大ホールホワイエ	
	18:30 情報交換会	武雄センチュリーホテル 5階 飛翔の間 (武雄市武雄町大字武雄4075-13) TEL 0954-22-2200 FAX 0954-22-2888 ※武雄市文化会館からシャトルバスを 運行します。	参加費 4,500円

※ 19日(木)の受付は、11時45分から13時まで武雄市文化会館 大ホール1階ホワイエで行います。
 必ず時間内に受付を済ませてください。

日程	内 容	会 場	備考
8月20日 (金)	【第24回自治体学会佐賀武雄大会】 8:30 学会総会<武雄市文化会館 ミーティングホール> 9:00 受付開始<武雄市文化会館 小ホール ホワイエ> 10:00 午前の分科会 ① 市民と連携できないで自治体職員か！ 12:00 ②-1 自治体発「ローカル・エコ・ガバナンス」～歴史と風 土のまちづくり ③ 自治体はローカル・マニフェストをどう使いこなすか (公募企画) 13:00 午後の分科会 ②-2 自治体発「ローカル・エコ・ガバナンス」 15:15 ～国際貢献と低炭素型まちづくり ④ 「地域主権」時代における自治体ガバナンス～議会・監 査は今のままでいいのか！ ⑤ 合併から連携へ～自治体のもうひとつの選択 ⑥ 子育て支援のパラダイム転換 15:15 シンポジウム 「現場から問う『地域主権戦略』」 16:45 17:45 夕方の分科会 ⑦ 「地域の売り出し方」最前線(地元企画) 19:45	武雄市文化会館 (1)小ホール (2)ミーティングホール (3)大集会室A (4)大集会室B (1)～(4)で行われる各分科 会・シンポジウム等の会場は当 日の受付でご案内します。	参加費 (資料代) 【会員】 3,000円 【非会員】 6,000円
	◎ 9:00～16:00 ポスターセッション	武雄市文化会館 市民ホール	
	◎10:00～15:00 研究発表セッション(A、B、C)	武雄市文化会館 ラウンジ ほか	

※ 20日(金)の受付は、9時から13時まで武雄市文化会館 小ホールホワイエで行います。
 必ず時間内に受付を済ませてください。

第27回全国自治体政策研究交流会議佐賀武雄大会 概要

※8月19日(木)の受付は、11時45分から13時まで武雄市文化会館大ホール 1階 ホワイエで行います。資料等をお渡ししますので、必ず受付を行ってください。

☆ 基 調 講 演 ☆

講演者 古川 康 佐賀県知事

演 題 「地域力の創造と発信 ～ 佐賀発施策あれこれ」(仮)

概 要 「地域主権」改革の流れは内閣が変わっても止まらない。今や、いずれの政党も、誰が政権を担おうとも、地方分権は進める流れにある、という、地方にとってはまたとない時期であるといえる。

一方、「地域主権」改革を実現していくためには、地方の現場における具体的な政策の創造、実践の積み重ねと、それに裏打ちされた「制度」に対する問題提起、国民世論の形成が不可欠である。

このため、改革を進める「政治力」もさることながら、改革を実行する「地域力」が極めて重要となる。

現場の「地域力」を活かした取組の実践例をもとに議論を深め、これから地方は何をすべきか、を考えていきたい。

◎講演者のプロフィール 古川 康(ふるかわ やすし) 佐賀県知事

昭和57年東京大学法学部を卒業、同年自治省に入省。長野県企画課長、岡山県財政課長、自治大臣秘書官、長崎県総務部長などを歴任。平成15年、マニフェストを掲げ佐賀県知事選に挑戦、同年4月、全国で一番若くして知事に就任。現在2期目。「がんばらんば さが!」をキーワードに、「くらしの豊かさを実感できる佐賀県」の実現を目指して県政に取り組む。

☆ パネルディスカッション ☆

テーマ

「地域力が未来を拓く ～ いかにして地域の人材力を高めるか」(仮)

企画趣旨

「地域力」を支えるのは「人材」である。いかに地域の中で人材を発掘し、育成できるかが「地域」の将来にとっての鍵となる。

地域内の人材を活用している事例、地域外から人を呼び込み人材力を高めている事例、見過ごされてきた人材を発掘し活かしている事例などを参考に、地域での人材活用、人材育成について考える。

パネリスト・コーディネーターのプロフィール

◎パネリスト 横石 知二（よこいし ともじ） 株式会社いろどり代表取締役社長

徳島県生まれ。徳島県農業大学校園芸学科卒業後、1979年に上勝町農業協同組合に営農指導員として就職。町の主力産業であった林業とみかん栽培が衰退する中、町の農業を変えようと干しイモや椎茸などさまざまな品目に挑戦し、1981年以降16年連続して農産物売り上げを伸ばす。町おこし事業として「つまもの」の生産・販売を考えつき、1986年に「彩」を開発し、事業化。1996年に上勝町役場に転籍。産業情報センターと株式会社いろどりの責任者として、「彩」をはじめとする特産品の企画販売を行う。2002年役場を退職し、株式会社いろどりの取締役役に就任。2007年には、News Week（日本版）「世界を変える社会起業家100人」に選出される。2009年5月から現職。

◎パネリスト 当麻 よし子（とうま よしこ） 埼玉県所沢市長

福岡県大牟田市生まれ。子育てをしながら消費者活動や女性の地位向上運動に取り組む。昭和54年、29歳で所沢市議会議員に初当選し、市議を3期、平成11年から埼玉県議会議員を2期務める。この間、平成18年に慶應義塾大学法学部乙類を卒業。
県議3期目の平成19年10月、所沢市長選に立候補し当選、現在1期目。「生活が第一のまちづくり」を掲げ、「Safety(安心)・Soft(自然)・Smile(笑顔)・Save(節約)」の「4つのS」をキーワードに「あったか市政」を推進中。

◎パネリスト 樋渡 啓祐（ひわたし けいすけ） 佐賀県武雄市長

1969年武雄市朝日町生まれ。1993年東京大学経済学部卒業。同年、総務庁（現総務省）に入庁。沖縄、大阪・高槻市などでの勤務を経て、2005年に総務省を退職。2006年4月、佐賀県武雄市長に当時最年少として当選。現在二期目。著書に「『力強い』地方づくりのための、あえて『力弱い』戦略論」（ベネッセコーポレーション、2008年）

◎コーディネーター 加留部 貴行（かるべ たかゆき）九州大学大学院統合新領域学府特任准教授

1967年生まれ。福岡県出身。1990年九州大学法学部卒業。同年、西部ガス(株)入社。

学生時代からまちづくり活動に携わり、入社後も活動を継続。

2001年には西部ガスより福岡市へNPO・ボランティア支援推進専門員として2年半派遣。2007年からは九州大学へ出向し、大学改革プロジェクトを経て、現在はファシリテーションの導入を通じた教育プログラム開発を担当。企業、大学、行政、NPOの4つのセクターを経験している「ひとり産学官民連携」。2008年5月から2010年5月まで(特活)日本ファシリテーション協会会長を務める。他に、(特活)日本ボランティアコーディネーター協会理事・運営委員長、福津市行政評価委員会会長、柳川市外部評価委員会会長など。

著書：『チーム・ビルディングー人と人をつなぐ』技法（ファシリテーション・スキルズ）』（日本経済新聞出版社、共著、2007年）

第24回自治体学会 佐賀武雄大会 2010.8.20(金)武雄市文化会館ほか

プログラム一覧

大会統一テーマ

地域力が未来を拓く ～佐賀武雄から『維新』の風が吹く～

＜午前の部 (10:00～12:00)＞

分科会 1 市民と連携できないで自治体職員か！

いま自治体は、市民と連携し、信頼関係を築きながら、課題を解決することが求められている。その一方で、事務仕事はそつなくこなすが地域に出て行って市民と一緒に汗を流すのは苦手といった「サラリーマン」型の傾向も見え始めている。このギャップをどう克服するか、自治体職員がどのように行動することが望ましいのかを考える。

●パネリスト

加留部貴行(九州大学統合新領域学府特任准教授)
荒川 俊雄(NPO政策研究所理事・主席研究員)
前田賢一郎(佐賀市市民活動推進課)
阿部 圭宏(NPO市民熱人代表)

●コーディネーター

渡辺 豊博(都留文科大学)

分科会 2-1 「ローカル・エコ・ガバナンス」 歴史と風土のまちづくり

歴史的まち並みをまちづくりに活用する動きが全国に広がっている。自立した地域形成を目指し、歴史的まち並みとその周辺環境、伝統工芸、まつりなど地域の歴史や伝統を反映した人々の営みを歴史的風土として活かしたまちづくりを探る。

●パネリスト

長 安六(佐賀大学)
尾崎 葉子(佐賀県有田町有田歴史民俗資料館)
岩下 善孝(鹿島市まちなみ建設課)

●コーディネーター

進士五十八(早稲田大学大学院客員教授)

分科会 3 公募企画:自治体はローカル・マニフェストをどう使いこなすか

ローカル・マニフェスト運動が最も盛んな九州では、マニフェストが地方政治・行政への住民からの信頼回復のツールとして確立しつつある。国政のマニフェストが国民から懐疑的に見られる中、九州から学ぶことはないか？ 先進自治体である佐賀県、熊本県御船町を事例に、マニフェスト型自治体運営のあるべき姿を考えたい。

●パネリスト

古川 康(佐賀県知事)
山本 孝二(熊本県御船町長)
大西 一史(LM推進議員連盟相談役)
村尾 秀樹(大川青年会議所直前理事長)
前田 隆夫(西日本新聞報道センター記者)

●コメンテーター

吉川 富夫(県立広島大学)

●コーディネーター

神吉 信之(LM推進ネットワーク九州)

＜午後の部 (13:00～15:00)＞

分科会 2-2 「ローカル・エコ・ガバナンス」国際貢献と低炭素型まちづくり

環境政策は、経済の成長が有限の範囲内であることを踏まえつつ、経済との両立が今まで以上に重要視されている。そこで、各々の地域において自発的に取り組んでいくべき環境技術方策の展開を考えるとともに、地域内の連携にとどまらない、国際連携を含むパートナーシップの充実と、ローカル・エコ・ガバナンスの理想像を考究する。

●パネリスト

檀本 礼二(北九州市環境モデル都市推進室)
武富 将志(佐賀市企画調整部総合政策課)
野口 英幸(福岡県大木町環境課)

●コメンテーター

進士五十八(早稲田大学大学院客員教授)

●コーディネーター

西村 浩(千葉県船橋市市民協働課)

分科会 4 「地域主権」時代における自治体ガバナンス～議会・監査は今のままでいいのか！

自治体が真に「地域主権」を確立するためには、自治体自らを律するシステム＝ガバナンスを確立することが求められる。そのためには、議会・監査の機能を充実強化させることが極めて重要である。本分科会では、地域の実情を盛り込みながら、先駆的に改革に取り組む事例を通して、今後の自治体経営のあり方を考えていく。

●パネリスト

熊谷 哲(京都府議会議員)
佐々木 允(福岡県田川市議会議員)
桑島 克典(北海道栗山町議会事務局)

●コメンテーター

石原 俊彦(関西学院大学)

●コーディネーター

廣瀬 克哉(法政大学)

分科会 5 合併から連携へ～自治体のもうひとつの選択

合併・道州制など「自治体の規模」に着目した議論が一段落し、「自治体間の広域連携」の重要性が高まっている。小規模自治体のあり方、事務の共同処理、定住自立圏構想、都道府県による広域連合など、あらゆる自治体にとって連携が真剣に向き合う課題となっている。こうした自治体間連携が新しい局面を迎える中で、今後のあり方を検討する。

- パネリスト
片山 健也(北海道二セコ町長)
湯浅 隆司(中海市長会事務局次長(鳥取県米子市))
日野 稔邦(佐賀県政策監グループ)
- コーディネーター
辻 琢也(一橋大学大学院教授)

分科会 6 子育て支援のパラダイム転換

子育てが「家庭が行うもの」から「社会全体で行うもの」へと変化しようとしているなかで、地域のこれからの在り方として、子育ての環境をどのように整えていくのが問われている。子育て支援施策の現状、財政問題との関わりを踏まえつつ、また、分権の観点でどう考えるべきか、議論を深める。

- パネリスト
森川 敬子(朝日新聞編集センター)
村上 千幸(山東保育園園長)
的場 啓一(関西学院大学大学院研究員)
- コーディネーター
広岡 守穂(中央大学)

＜シンポジウム(15:15～16:45)＞

シンポジウム 現場から問う『地域主権戦略』

菅内閣が鳩山内閣から引き継いだ「地域主権戦略」。果たして、これまでの地方分権改革とどう違うのか。「戦略大綱」がまとまるのを受けて、自治の現場の視点でその中身を評価し、現場が本当に望んでいる改革とは何か、自治体はどう対応していけばいいか、国と地方の協議の場をどう進めるか、などを議論する。

- パネリスト
逢坂 誠二(衆議院議員・首相補佐官)
津村 重光(前宮崎市長) ほか
- コーディネーター
中川 幾郎(帝塚山大学)

＜夕方の部(17:45～19:45)＞

分科会 7 地元企画:「地域の売り出し方」最前線

会場:淀姫神社

首長のトップセールスのみならず、「流通」「営業」を組織にもつ自治体も現れている。外部からの人材登用や、「アイデア首長」や「名物職員」と呼ばれるキーパーソンの存在に大きく頼るところも少なくない。「地域の売り出し方」について、その「コツ」をさぐる。

- パネリスト
樋渡 啓祐(武雄市長)
田上 富久(長崎市長)
桑野 和泉(由布院「玉の湯」社長)
- コーディネーター
田代 芳樹(西日本新聞社)

●研究発表セッション〔A、B、C〕

8月20日(金) 10:00～15:00

今大会から、公募で選ばれた会員による「研究発表セッション」を設けました。自治の諸課題に取り組む現場からの実践報告、大学院生・研究者らによる研究成果などを発表してもらい、会場の参加者と議論を深めます。

※研究発表セッションA～Cそれぞれの内容については、自治体学会ホームページでご確認ください。

●ポスターセッション

8月19日(木)・20日(金)

地域ブロック単位、個人・団体の報告書などの配布・展示、自治体の取組みの紹介、出版物の展示・配布等を通して、参加者が交流・意見交換できる場としてポスターセッションを開催します。

●エクスカーション

8月20日(金)・21日(土)

- A 佐賀(古湯)コース:過疎地域における映画・文化を活用した地域おこしについて語ります。早朝天候がよければバルーンの係留飛行を予定しています。
- B 武雄・有田コース:「有田焼」をメインテーマに「地域づくり」や「まちおこし」について陶芸家との談義を予定しています。
- C 唐津コース:棚田百選にも選ばれた「蕨野の棚田」の地元住民と極上の棚田米をつかった料理や地酒をお供に夜なべ談議をします。呼子のいか活き造りも堪能できます。

大会参加・昼食・宿泊等 お申し込みのご案内

- ◆ 参加申込書に必要事項をご記入の上、西鉄旅行(株)宛に F A X 又は郵送でお申し込み下さい。
- ◆ お申込み後、「ご予約確認書」「各種参加券等」と「請求書」をお送りいたします。
ご予約内容をご確認いただき、8月13日(金)までに請求書記載の所定の口座にお振込み下さい。
- ◆ お振込み手数料は、ご参加者にてご負担いただきますようお願いいたします。

お申込み締切日：平成22年7月30日(金)

宿泊施設(武雄市内) 8月18日(水)～20日(金)

- ◆ 武雄市は温泉街のため市内にはビジネスタイプのホテルが少なく、シングルルームには限りがあります。
旅館タイプでの和室相部屋が多くなりますので、あらかじめご承知願います。
なるべくお知り合いの方と一緒に申込みいただければ幸いです。

宿泊施設ランク	部屋タイプ	料 金	申込番号
ビ ジ ネ ス ホ テ ル	シングル(1名一部屋)	6,000円	1
旅 館 タ イ プ A	和室 1名一部屋	12,000円	2
	和室 2名一部屋	9,000円	3
	和室 3名一部屋	8,000円	4
	和室 4名以上一部屋	7,000円	5
旅 館 タ イ プ B	洋室 1名一部屋	9,000円	6
	洋室 2名一部屋	7,000円	7
	和室 3名一部屋	7,000円	8
	和室 4名以上一部屋	6,000円	9

- ◆ 各ランク毎のホテル／旅館名の指定は原則できません。
- ◆ 宿泊料金は、お一人様1泊朝食付き(施設により簡単な軽食の場合があります)・消費税込みの料金です。
旅館タイプでは入湯税を含みます。夕食は含まれていません。
- ◆ ご希望宿泊施設(タイプ)は第2希望までご記入願います。

- * ビジネスホテル : セントラルホテル、パーソナルホテル遊
- * 旅館タイプ A : 武雄温泉街(なかます旅館、東洋館、京都屋、春慶屋 など)
- * 旅館タイプ B : 武雄市御船山周辺(武雄センチュリーホテル、御船山観光ホテル など)
(旅館タイプには温泉大浴場があります)

昼食(お弁当)のご案内

日 時	内 容	料 金
8月20日(金)	お弁当(佐賀の食材を使った幕の内弁当・お茶付き)	1,000円(税込み)

自治体学会佐賀武雄大会 エクスカーションのご案内

ご案内エクスカーションは下記の3コースです。

- ◆ 詳細はP 8 ～ P 9をご覧ください。
- ◆ 各コースとも8月20日(金)17時に武雄市文化会館前を出発いたします。
Bコースの一部(8月20日)は、分科会:7「『地域の売り出し方』最前線」となります。
- ◆ 解散は、8月21日(土)の午後、各コースの最寄り駅となります。
(お帰りの切符をご購入の際には、乗車駅/出発時間にはご注意願います)

	コース名	宿泊先	募集人員	最少催行人員	旅行代金
A	佐賀市コース バルーンに乗って空から見渡せば、 佐賀の山村、城下町の魅力が見えてくる!	古湯温泉 吉花亭	40名	20名	23,000円
B	武雄市・有田町コース “ 地域の売り出し方 ”と 今泉今右衛門氏と語る有田の歴史と伝統	武雄市 セントラルホテル	30名	20名	19,000円
C	唐津市コース 「蕨野棚田米」の極上おにぎり片手に語ろう! 山と海の地域づくり	唐津市 唐津シティホテル ほか	30名	20名	21,000円

【募集要項】

- ◆ 募集人員はAコース40名、B、Cコースは30名(最少催行人員はいずれも20名)です。
- ◆ 最少催行人員に満たない場合は、中止させていただきますので、あらかじめご承知願います。
- ◆ 受付は申し込み順とさせていただきますので、お早めにお申込みください。
- ◆ 希望コースは、第2希望までご記入ください。
- ◆ 宿泊について
 - ① Aコースは、和室定員(一部屋4～5名)にて相部屋となります。
古湯温泉は小規模の温泉旅館のみで、洋室シングルルームを持つ宿泊施設はありません。
2名一部屋ご希望の場合は、お一人様5,000円の追加料金で対応させていただきます。
 - ② Bコースは、洋室シングルルーム利用。
 - ③ Cコースは、ビジネスホテルを利用いたしますが、シングルルームは限りがあるため、ツインルーム(一部屋2名)となることがあります。

* A/Cコースは他の参加者と相部屋になりますので、同室希望の方がいる場合は申込書備考欄に相手の方の所属団体名/氏名をご記入ください。
- ◆ 食事条件は、朝1回・昼1回・夜1回です。
Cコースの夕食は、蕨野地区の公民館にて地元の方々が地元食材を利用した食事を提供させていただきます。
- ◆ 各コースとも添乗員が同行いたします。
- ◆ 視察研修の内容については、都合により変更となる場合がございます。
- ◆ 詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

旅行企画・実施



西鉄旅行 佐賀支店

「全国自治体政策研究交流会議・自治体学会」大会受付係 (担当: 宮原/横尾/野田)

観光庁長官登録旅行業第579号 日本旅行業協会正会員 総合旅行業務取扱管理者: 野田良則

〒840-0801 佐賀市駅前中央1-1-5

TEL: 0952-24-7245 FAX: 0952-24-6640

営業時間: 平日9:30～18:00 土・日・祝日は休業

エクスカッションコースのご案内

- ★いずれのコースも地元の自治体職員あるいは地域住民の方々と懇談会をセットいたしました。
- ★視察先でも、自治体職員、NPOの職員、地元の方々が見どころを説明いたします。
- ★様々な形で、地元の方々と地域づくりに関する意見交換をすることができます。
- ★一般の訪問では体験することができない催しを組み込んでいます。

A 佐賀市コース

バルーンに乗って空から見渡せば、佐賀の山村、城下町の魅力が見えてくる！

広域合併で佐賀市となった山間部の富士町の自然とおもてなしの心を生かした地域おこしと、佐賀を代表する国際的イベント“バルーン フェスタ” 熱気球の体験飛行！ （悪天候の場合中止することがあります）
また、城下町の魅力を生かしたまちづくりをお楽しみください。

期 日	日 程
8月20日 (金)	武雄市文化会館(17時00分 出発) → 佐賀市富士町 古湯温泉(18時頃到着) 《 宿泊 》古湯温泉 「吉花亭」 宿泊地へ向かうバスの中で、翌朝体験していただく“バルーン(熱気球)”と、佐賀を代表する国際イベント“佐賀インターナショナルバルーンフェスタ”について説明。 夕食後は、富士町(古湯温泉)の町おこし“ぬる湯”と、この秋27回目を迎える“古湯映画祭”について体験談や裏話を聞く夜なべ談義を予定しています。
8月21日 (土)	早朝、バルーン(熱気球)の係留飛行体験 山村の静かな温泉地“古湯温泉” の旅館街の散策と北方謙三「望郷の道展」観覧 古湯温泉(9時30分 出発) → (車窓より)完成間近の嘉瀬川ダム工事現場 → 小中一貫校 北山校(過疎地での教育再生を学ぶ) → → 佐賀市内“街角えびすさん”をぶらり見て歩きます(ガイドの説明) → → レトロ館での昼食 → 佐賀城本丸歴史館(ボランティアガイドの説明) * J R 佐賀駅(15時頃解散) “佐賀バルーンフェスタ”で使用する熱気球の係留飛行体験(悪天候の場合は中止)。 平成20年度より小中一貫の9年間に渡る系統的継続的な教育活動を行ない始めた北山校にて過疎地の教育事情を担当教職員より直接説明いたします。 佐賀市の城下町には縁起物である“街角えびすさん”が400体以上。“えびすでまちづくり”を語ります。昼食は佐賀でブレイク中！B級グルメコンテストNo.2の「シシリアンライス」。 県立佐賀城本丸歴史館では、佐賀の歴史とボランティアガイドの発足経緯や現状を説明いたします。
* 募集人員 40名(最少催行人員 20名) * 旅行費用 @23,000円(和室定員での宿泊) * J R 佐賀駅からは、博多行き特急が約30分毎に運行しています(博多まで約40分)	

B 武雄市・有田町コース

“地域の売り出し方”と、今泉今右衛門氏と語る有田の歴史と伝統

地元企画の分科会“「地域の売り出し方」最前線”で売り出し方のコツを探り、引き続き「夜なべ談義」へ。
2日目は「有田焼」をテーマに歴史保存の現状と課題を探っていきます。

期 日	日 程
8月20日 (金)	武雄市文化会館(17時00分 出発) → 「分科会7：『地域の売り出し方』最前線」 → 食彩屋“こずみ”「夕食と夜なべ談義」 → 武雄市内ホテル(21時45分頃到着) 《 宿泊 》「セントラルホテル武雄」 夕食／夜なべ談義の会場「食彩家 こずみ」は築150年の旧武雄領主ご休息のお屋敷。 草葺屋根の古民家と趣のある景観のなかで、地元で採れた地産地消の素材、無添加で体にやさしい手作りの料理を召し上がりながら、地元関係者と「売り出し方」を考えましょう。

期 日	日 程
8月21日 (土)	武雄(8時30分 出発) → 有田町歴史民俗資料館(日本磁器発祥の地有田の歴史) → 今右衛門窯・古陶磁美術館(十四代今泉今右衛門氏との意見交換会) → 昼食(郷土料理の“ごどうふ”) → 有田焼体験工房“赤絵座”(有田焼絵付け体験) → 有田陶磁の里プラザ(有田焼を買うことができます) → * J R有田駅(14時30分頃解散) 有田町歴史民俗資料館では尾崎館長より日本磁器発祥の地有田の歴史と重要伝統的建造物保存地区の有田町内山地区の町並み紹介。 有田を代表する陶芸家の十四代今泉今右衛門氏との意見交換会。有田焼400年の歴史と現状、伝統文化保存について体感してください。
* 募集人員 30名(最少催行人員 20名) * 旅行費用 @19,000円	
* 解散地の有田駅には14時30分までに到着の予定です。JR有田駅 14時38分発 博多行き「みどり18号」	

C 唐津市コース

「蕨野棚田米」の極上おにぎり片手に語ろう! 山と海の地域づくり

平成の広域合併で、周辺の農村や漁村と一つになった「新唐津市」。「山」「海」それぞれの個性を生かした地域づくりを視察します。

期 日	日 程
8月20日 (金)	武雄市文化会館(17時00分 出発) → 唐津市相知町・蕨野の棚田 → 蕨野の公民館にて「夕食と夜なべ談義」 → 唐津市内ホテル(20時30分頃到着) 《 宿泊 》「唐津シティホテル」他 棚田百選である「蕨野の棚田」は、棚田としては初めて「国の重要文化的景観」に選ばれました。石積みの棚田が特徴で、中には日本一の高さのものがあり、圧巻です(地元ガイドの説明があります)。江戸時代初期から開発された歴史ある棚田の保存と今後の活かし方を皆で考えましょう。夕食は、蕨野地区の皆さんが作った、安全な棚田米で作った極上の“おにぎり”や“手打ちそば”など地元で採れた食材を使った田舎料理や地酒でおもてなしいたします。
8月21日 (土)	唐津(8時30分出発) → 旧唐津銀行(再現工事中の文化財を特別見学) → 呼子の朝市(日本三大朝市) → 国の特別史跡“名護屋城跡”と佐賀県立名護屋城博物館 → 昼食(佐賀を代表する味覚“イカの活き造り”) → 重要文化財“旧高取邸”(ボランティアガイドの発足経緯と現状について意見交換会) → * J R唐津駅(15時頃解散) 旧唐津銀行は、東京駅や日銀本店などを設計した唐津出身の辰野金吾氏が監修した赤煉瓦調の建造物です。現在保存修復工事中ですが、本コースにご参加の方だけに特別にご案内いたします。 呼子は、捕鯨の町として栄えた港町で、現在はイカと朝市が全国的に有名です。朝市には新鮮な魚介類が並び、昼食の“イカの活き造り”は絶品です。 豊田秀吉が朝鮮出兵の際に築いた名護屋城は、周囲に有名武将の陣跡が多数あります。 旧高取邸は、明治時代に炭鉱で財をなした高取伊好の旧邸宅で、室内に可動式の能舞台があったり杉戸絵や欄間など趣向を凝らした造りになっており、そのスケールの大きさに圧倒されます。 解散地の唐津駅の隣には、唐津焼や唐津名産品の展示・販売所があります。
* 募集人員 30名(最少催行人員 20名) * 旅行費用 @21,000円	
* J R 唐津駅からは、博多駅・福岡空港方面行きの電車が約30分毎に運行しています。	

お申込み・お支払い方法

- ①別紙申込書に必要事項をご記入の上、西鉄旅行(株)佐賀支店までFAX又は郵送にてお申込みください。
- ②間違いを防ぐために、電話でのお申込みは受付できませんので、予めご了承ください。
- ③8月第一週に、「各種参加券」・「宿泊施設等の予約確認書」・「請求書」を代表者様に一括してお送りいたします。
- ④お送りしました書類の内容をご確認後、8月13日までに指定口座へお振込みください。
- ⑤振込手数料は各自ご負担いただきますようお願い申し上げます。
- ⑥変更及び取消される場合は、所定の「変更・取消届け」にてお早めにFAX又は郵送にてご連絡ください。

お申込み締切日

7月30日(金) *但し、満席になり次第締め切らせていただきます

取消料について

- お客様のご都合による取消及び行程の変更については下記の取消料をお支払い戴きます。

《エクスカーション》に関する取消料

旅行開始日の前日から起算してさかのぼって					
21日前まで	20日前～8日前	7日前～2日前	出発日の前日	出発日当日	旅行開始後の取消、無連絡
無 料	旅行代金の20%	旅行代金の30%	旅行代金の40%	旅行代金の50%	旅行代金の100%

《宿泊》に関する取消料

宿泊日の前日から起算してさかのぼって				
8日前まで	7日前から2日前	前 日	当 日	旅行開始後の取消、無連絡
無 料	宿泊代金の20%	宿泊代金の40%	宿泊代金の50%	宿泊代金の100%

《交流会会議資料代・情報交換会参加費・自治体学会参加費(資料代)・昼食(弁当)》に関する取消料

8月13日(金)以降の取り消しによる返金はありません。 ご注意ください。

旅行条件 (要約)

●募集型企画旅行契約

この旅行は、西鉄旅行株式会社(福岡市中央区薬院3-16-26 観光庁長官登録旅行業第579号 以下「当社」と云う)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」と云う)を締結することになります。

又、旅行条件は宿泊プラン条件のほか、下記条件、出発前にお渡しする確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行のお申込み及び契約成立時期

所定の申込書にご記入いただき、FAX又は郵送にてお申込みください。旅行契約は当社が契約の締結を承諾し、申込金又は旅行代金を受領したときに成立いたします。

●旅行代金に含まれるもの

宿泊施設の場合、1泊朝食付き、税金、サービス料。

エクスカーションの場合、各コースごとの宿泊条件、食事(夕食、朝食、昼食各1回)、入場料金、添乗員費用等を含みます。

●個人情報の取扱について

当社は申込書等に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配・受領のための手続きに必要な範囲内で利用いたします。

●この旅行条件は平成22年6月10日を基準としております。

【旅行企画・実施】

西鉄旅行(株)佐賀支店「全国自治体政策研究交流会議・自治体学会」大会受付係 担当:宮原/横尾/野田

観光庁長官登録旅行業第579号 日本旅行業協会正会員 総合旅行業務取扱管理者:野田良則

〒840-0801 佐賀市駅前中央1-1-5

TEL:0952-24-7245 FAX:0952-24-6640

営業時間:平日9:30～18:00 土・日・祝日は休業

都道府県名

都府県

第27回全国自治体政策研究交流会議・第24回自治体学会 佐賀武雄大会

大会参加・宿泊・視察旅行 申込書

No.

「旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関・保険会社等への個人情報提供について同意の上、本旅行に申し込みます。」

所属団体・部署名		フリガナ	
		申込者氏名	
		TEL	
連絡先住所 (書類送付先)		自宅	FAX
		勤務先	

申込期限	
7月30日(金) (消印有効)	
申込日(記入日)	
月	日

参加者の掲載可否	フリガナ 所属名 部署名	フリガナ 名前	8月19日(木)		8月20日(金)							エクシ ョン		宿泊希望 ホテル		宿泊日			弁当	備考	
			全国自治体政策研究交流会議	自治体政策 研究 交流会議	情報交換会	自治体学会		佐賀武雄大会		シンポ ジウム	夕方 分科会	第一希望	第二希望	第一希望	第二希望	18日 (水)	19日 (木)	20日 (金)			
						午前分科会 第一希望	第二希望	午後分科会 第一希望	第二希望												
例	可・否	サガケンケイエイエシエンホンブ 佐賀県経営支援本部 人材育成・組織風土グループ	サガ タケオ 佐賀 武雄	○	○		会員 (No.) 非会員	1	A	2-2	5	○	○	A	C	1	2	○	○	○	エクスカーションA 定員部屋 〇〇市〇〇〇〇〇〇さんと同室
1	可・否					会員 (No.) 非会員															
2	可・否					会員 (No.) 非会員															
3	可・否					会員 (No.) 非会員															
4	可・否					会員 (No.) 非会員															
5	可・否					会員 (No.) 非会員															

※上記申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にてお申し込みください。

※研究発表セッションに参加を希望される方は、分科会の欄に午前は「A」または「B」、午後は「C」とご記入ください。

※希望施設が満室の場合がありますので、第二希望まで必ずご記入ください。

※連絡先住所は、自宅・勤務先のいずれかに○印を付けて、その住所をご記入ください。

※エクスカーションのA、Cコースは部屋タイプ/同室希望者を備考欄にご記入ください。

※郵送の場合は、お手元に控えのコピーを取ってください。

※記入欄が不足の時は、お手数ですがコピーの上ご利用ください。

※交流会議参加費(資料代)・情報交換会参加費・自治体学会大会参加費(資料代)は大会事務局からの依頼に基づき西鉄旅行が代行収受するものです。

※お弁当申込みは旅行契約に該当しません。付帯サービスとして申込みを承ります。

【申込先】
西鉄旅行 佐賀支店「大会受付係」宛て
FAX 0952-24-6640
〒840-0801 佐賀市駅前中央1-1-5
TEL 0952-24-7245 担当：宮原／横尾／野田

平成22年 月 日

第27回 全国自治体政策研究交流会議 佐賀武雄大会
第24回 自治体学会 佐賀武雄大会

変更・取消届け

所属団体名		申込者氏名	
TEL	() -	FAX	() -

*下記のとおり、変更・取消いたします。

参加者氏名	変 更 ・ 取 消 内 容	
	変 更 前	変 更 後

-
-
-
- * 変更・取消が生じた場合は、変更内容を正確にご記入後、FAXにて西鉄旅行までお送りください。
 - * FAXの到着が西鉄旅行「大会受付係」の営業時間外、休業日の場合は翌営業日の受付扱いとさせていただきます。
 - * 西鉄旅行「大会受付係」へ連絡の無い変更・取消については一切返金できませんのでご了承ください。
 - * 変更・取消による精算は大会終了後に行ないます。

お問い合わせは



西鉄旅行 佐賀支店

「全国自治体政策研究交流会議・自治体学会」大会受付係（担当：宮原／横尾／野田）

観光庁長官登録旅行業第579号 日本旅行業協会正会員 総合旅行業務取扱管理者：野田良則

〒840-0801 佐賀市駅前中央1-1-5

TEL：0952-24-7245 FAX：0952-24-6640

営業時間：平日9：30～18：00 土・日・祝日は休業

自治体学会事務局からのお知らせ

◆当日の受付について

- ・20日(金)の受付は、9時から武雄市文化会館の小ホールホワイエで行います。
- ・受付は、13時までとなっております。
- ・分科会のみに参加される場合でも、必ず、13時までに武雄市文化会館の小ホールホワイエで受付を済ませてください。
- ・13時以降はそれぞれの分科会会場にて受付を行っています。

◆総会について

- ・自治体学会の総会は8時30分から9時45分までの予定で、武雄市文化会館ミーティングホールで行います。
- ・総会に出席される学会員の方は、8時25分までに直接「同ホール」にお越しください。

◆分科会・シンポジウム・研究発表セッション会場について

- ・分科会・シンポジウムは、主に以下の施設を会場に行います。
- ・どの会場でどの分科会開催となるかは、当日の受付のときに一覧表を配布いたします。

施 設 名 (住所)	主 な 会 場	備 考
武雄市文化会館 (武雄市武雄町大字武雄5538番地1)	小ホール	分科会 シンポジウム
	ミーティングホール	運営委員会(19日) 総会・分科会
	大集会室A	分科会 等
	大集会室B	分科会 等
淀姫神社※ (佐賀県武雄市朝日町)	〔文化会館から会場までは シャトルバスを運行します。〕	分科会7 (地元企画:17:45から)

※淀姫神社は、テレビドラマ「佐賀のがばいばあちゃん」のロケ地の1つとなったところです。

◆昼食会場について

- ・会場となる武雄市文化会館の周辺では、飲食店が少ないのでご注意ください。
- ・弁当は大ホール、小ホール以外の集会室等でおとりいただくことになります。

お申込み・お問い合わせ先(両大会共通)

西鉄旅行(株) 佐賀支店内

「第27回全国自治体政策研究交流会議・第24回自治体学会 佐賀武雄大会」大会受付係

担当: 宮原、横尾、野田 TEL: 0952-24-7245 FAX: 0952-24-6640

[illegible]

TEL:0952-25-7345 FAX:0952-25-7477

TEL&FAX:03-6427-6685